

諸人のここに学びて―校長室から見える風景―(64)

英語は世界を広げてくれる ―但馬地区高校生英語スピーチコンテスト―

12日に但馬地区の高校生英語スピーチコンテストがありました。今年で41回目となります。

本校からは2年次の木本 明さんと柴原一花さんの2名が出場しました。木本さんは「One Way to Grasp Art(芸術を捉えるために)」柴原さんは「What Can I do?(私に何ができること)」というタイトルのスピーチでした。それぞれ芸術を通してものの見方、生活を豊かにまた広げることや英語を学ぶための自分の意識をどう持つのか、何をすべきかといった内容で、テーマは違いますが自身の経験から考えを明確に述べられておりよくまとまったものになっていました。パフォーマンスも素晴らしく、木本さんが1位、柴原さんが2位とそろって賞をいただきました。

人前でスピーチをするというだけでも大変なことですが、それを英語で、となるとさらにハードルは上がります。その中で出てみよう!と思うだけでもすごいこと。すべての出場者のみなさんに敬意を表します!!

そして会場校の先生方、生徒のみなさんにはコンテストの準備、進行に大変お世話になりました。ありがとうございました!!

